

LRP

R E P O R T



LET'S READ PROJECT
REPORT

2015

はじめに

Let's Read Project(以下LRP)は本を読むこと、

そしてその楽しさを他人と共有することを目的に 2008 年に発足した団体である。

活動を始めて 8 年目になる今年も、その活動目的に従い様々な活動をしてきた。

ビブリオバトルに本棚企画、図書館見学ツアーや選書ツアーなどの

大きいイベントだけではなく、ミーティングも毎週おこない、交流を深めている。

例年通り数回の本棚企画を行ったが、今年はテーマを複数設定し、

一つのテーマで本棚を埋めるのではなく、細かく区切って展示することが多かった。

“全く違うジャンルの本を同時に展示することができる”のも、こうした展示の醍醐味だ。

同じ「かいき」という発音に注目した夏の本棚企画『怪奇／回帰本棚』のような

おもしろい企画も、その自由な展示形から生まれた。

同じく夏におこなわれた見学ツアーは、国際子ども図書館を訪ねた。

外装も内装も美しい歴史ある図書館で、階段の手すりなどに建設当時の装飾が

そのまま残されていた。普段は入れないバックヤードにある資料書庫の見学や、

ガイドの方による建築様式の説明など非常に勉強になる有意義な時間を過ごせた。

大学祭では、ビブリオバトルとコミックアゴラを開催することができた。

今年のビブリオバトルのテーマは“漫画”で、

普段本を読まない方でも非常にとっつきやすいテーマだったと思う。

漫画を実際に手に取って読んでもらうことのできるコミックアゴラも、

多くのお客様に楽しんでいただけたのではないだろうか。

読書離れが嘆かれて久しい。

国木田独歩は「読書を廃す、これ自殺なり」という言葉を残しているが、

この言葉は現代ではもう通用しないだろう。

しかし、今まで全く本を読んだことのない人はいない。

本を読まなくなったという人は、本を読む楽しさを忘れてしまっただけなのではないだろうか。

このレポートは私たちの一年間の活動報告である。

その中にはメンバーが勧める本を紹介しているページもある。

このレポートで少しでも本を読む楽しさを思い出していただけたら幸いだ。

最初に書いた通り、楽しさの共有が LRP の活動目的なのだから。

総合文化学科 1 年 もち

LRP REPORT

LET'S READ PROJECT REPORT

CONTENTS

はじめに……………2

厳選POP……………4

LRP2015年度活動報告……………6

5月 7日 「新入生歓迎本棚2015」公開……………7

5月 14日 「新入生歓迎本棚2015」………8
公開記念プレゼンテーション開催

7月 9日 「怪奇・回帰本棚」公開……………9

8月 20日 国際子ども図書館見学ツアー 2015……………10

10月 23日 「〇〇の秋本棚」公開……………12

10月 31日 「コミックアゴラ×ビブリオバトル」開催……………12

12月 18日 「もう一度読みたい絵本本棚」公開……………13

2月 10日 第9回選書ツアー……………14

ビブリオバトル……………15

PICK UP BOOK……………16

テーマピックアップ……………18

LRPプロフィール……………20

今年度を振り返って……………22

「表紙：選書ツアー(2016年2月)にて《紀伊國屋書店新宿本店》」

厳選

POP

今年も、数々の企画本棚を行う中で、
本に添えるPOPをメンバーが作成しました。
多くの力作から厳選したPOPをご覧ください。



旅行タグに書かれているところが
可愛くて選びました♡

『魔界京都』
川端洋之文 東祥司写真
光村推古書院



全てを教えてください！

『図解メイド』
池上良太著 新紀元社編集部編
新紀元社



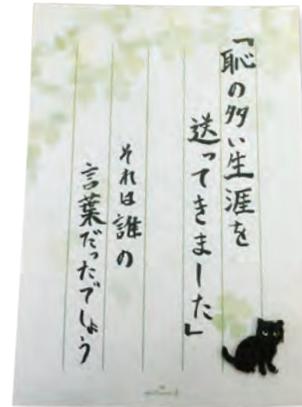
文字の後ろの色つきの影が
とても可愛くって見やすい！

『アリス殺し』
小林泰三著
ブックデザイン：
緒方修一
イラストレーション・デザイン：
丹地陽子・藤田知子
東京創元社



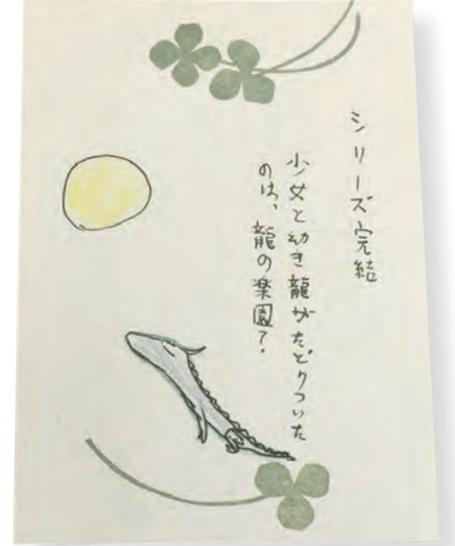
パッと目をひかれました！
愛がこもってますね

『刀』大事典
レッカ社編著
カンゼン



字が好きです！

『“文学少女”と死にたがりの道化』
野村美月著
エンターブレイン

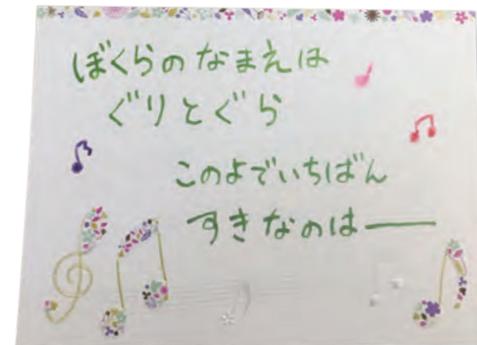


東洋のファンタジーの匂いを察知!!

『ドラゴンキーン 月下の翡翠龍』
キャロル・ウィルキンソン作；もきかずこ訳
金の星社

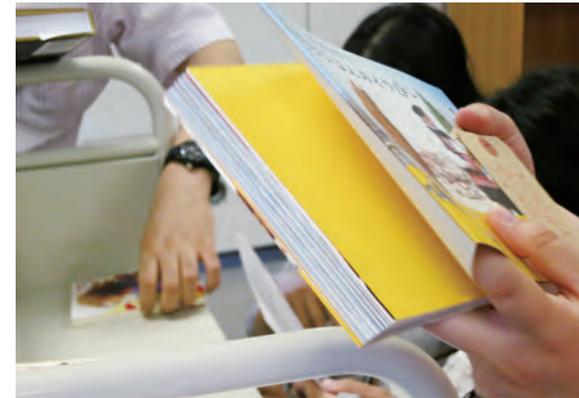
昔からの名作 玉子のカラで
車を作るのが好きでした

『ぐりとぐら』
なかがりえこ著 おおむらゆりこ絵
福音館書店



本当に妖精の世界に誘われそうです
『フラワー・フェアリーズのお話』
シシリー・メアリー・パーカーさく 上野和子やく
大日本絵画





5月7日

恒例『新入生歓迎本棚2015』公開

春休みにLRP学生メンバーで行った「選書ツアー」で購入した本に、POPをつけ、展示しました。学生ならではの視点で選ばれた本を楽しんでください！ぜひ、ご覧あれ！

LET'S READ PROJECT

『新入生歓迎本棚2015』ブックリスト

タイトル/著者ほか	出版社
1 名刀伝 / 牧秀彦著; 新紀元社編集部編	新紀元社
2 歴史はスメールに始まる / N・クレマー [著]; 佐藤輝夫, 植田重雄訳	新潮社
3 マスコミはなぜ「マスゴミ」と呼ばれるのか: 権力に縛られたメディアのシステムを俯瞰する 補訂版 / 日隅一雄著	現代人文社
4 竜の騎士 / コルネリア・フンケ著; 細井直子訳	WAVE 出版
5 日本特攻艇戦史: 震洋・四式肉薄攻撃艇の開発と戦歴 / 木俣滋郎著	潮書房光人社
6 三国志 / 宮城谷昌光著; 第1巻	文藝春秋
7 中国食品工場の秘密 / 青沼陽一郎著	小学館
8 大乗仏教の根本〈般若学〉入門: チベットに伝わる『現觀莊嚴論』の教え / 田中公明著	大法輪閣
9 ニセチャイナ: 満洲・蒙疆・冀東・臨時・維新・南京 / 広中一成著	社会評論社
10 替女キタイとハル: 強く生きた盲女性たち / 川野楠己著	鉦脈社
11 バカが全裸でやってくる / 入間人間 [著]	アスキー・メディアワークス
12 空の境界未来福音: the Garden of sinners / recalled out summer / 奈須きのこ著	星海社
13 日本刀: 妖しい魅力にハマる本 / 博学こだわり倶楽部編; 夢の設計社企画・編集	河出書房新社
14 無文字民族の神話 新装復刊 / ミシェル・パノフ, 大林太良 [ほか] 著; 大林太良, 宇野公一郎訳	白水社
15 少年院教育はどのように行われているか: 調査からみえてくるもの / 広田照幸, 後藤弘子編	矯正協会
16 世界で一番美しい猫の図鑑 / タムシン・ピッケラル著; アストリッド・ハリソン写真; 五十嵐友子訳	エクスナレッジ
17 偏差値28の僕の人生を変えた「一点突破」勉強法: 8ヶ月で九州大学合格! 32歳で国立大学准教授!! / 日野道啓著	大和出版
18 散歩とごはんのくり返し: 松本智秋の「写真で綴る旅日記」 / 松本智秋著	自由国民社
19 最後のアマゾン: 天野尚写真集 = The last Amazon: Takashi Amano photobook / 天野尚著	小学館 (発売)
20 恋都 (こと) の狐さん / 北夏輝 [著]	講談社
21 龍のすむ家グラッフェンのぼうけん / クリス・グレーシー著; 三辺律子訳	竹書房
22 ドラゴンキーパー 紫の幼龍 / キャロル・ウィルキンソン作; もきかずこ訳	金の星社

タイトル/著者ほか	出版社
23 月下の翡翠龍 / キャロル・ウィルキンソン作; もきかずこ訳	金の星社
24 最後の宮廷竜 / キャロル・ウィルキンソン作; もきかずこ訳	金の星社
25 海を渡ってきたわが子: 韓国の子どもを育てたスウェーデンの親たち: 9編の実話 / キム・スコグランド編; 坂井俊樹監訳; 徐凡喜訳	梨の木舎
26 戦国時代人物事典: 全国版: 大名・家臣団・天皇・公家・宗教家・文化人・商人・女性・武芸者 / 歴史群像編集部編	学研パブリッシング
27 祝詞必携 / 小野迪夫著; 金子善光著	戎光祥出版
28 比較不能な価値の迷路: リベラル・デモクラシーの憲法理論 / 長谷部恭男著	東京大学出版会
29 棚田の歴史: 通潤橋と白糸台地から / 吉村豊雄著	農山漁村文化協会
30 伝説の「武器・防具」がよくわかる本: 聖剣エクスカリバー・妖刀村正からイージスの盾まで / 佐藤俊之監修; 造事務所編著	PHP 研究所
31 戦国武将の戦術論 / 榎本秋著	ベストセラーズ
32 古事記: 神々と神社の物語 / 日本歴史探検の会著	宝島社
33 日本のお守り: 神さまとご利益がわかる / 畑野栄三監修	池田書店
34 アリス殺し / 小林泰三著	東京創元社
35 神さまのおしゃべり / さとうみつろう著	ワニブックス
36 「図解」日本刀事典: 刀・拵から刀工・名刀まで刀剣用語徹底網羅!! / 歴史群像編集部編	学習研究社
37 昔話の深層: ユング心理学とグリム童話 / 河合隼雄 [著]	講談社
38 「刀」大事典 = Japanese Samurai Swords-KATANA- : ゲーム・アニメ・ラノベ好きのための / レッカ社編著	カンゼン
39 おとぎ話の幻想挿絵 / 海野弘解説・監修	パイインターナショナル
40 童話標本 / 陳淑芬著	飛鳥新社
41 フラワー・フェアリーズのお話 / シシリー・メアリー・パーカーさく; 上野和子やく	大日本絵画
42 剣の乙女: 戦場を駆け抜けた女戦士 / 稲葉義明, F.E.A.R 著	新紀元社
43 図解メイド / 池上良太著; 新紀元社編集部編	新紀元社



『童話標本』
陳淑芬著 飛鳥新社

No.
2

5月14日

『新入生歓迎本棚2015』公開記念プレゼンテーション開催

春休みの選書ツアーに参加したLRP学生メンバーが、選んだ本の中から「おすすめの1冊」をプレゼンテーションしました。図書・情報館3階LRPコーナー前のフリー閲覧コーナーにて、「どうしてこの本を新入生に読んでほしいか」、「この本はここが面白い!」などなど、熱い思いを楽しく、語ってくれました。



『〈図解〉日本刀事典：
刀・拵から刀工・名刀まで
刀剣用語徹底網羅!!』
歴史群像編集部編
学習研究社



No.
3

7月9日

『怪奇・回帰本棚』公開

夏の企画本棚は、ダブル企画です!

☞ 「怪奇本棚」

夏休み前に、「怖い」本を集めました。暑〜い夏に、ぴったりの企画です!

☞ 「回帰本棚」

メンバーが、小・中学生の頃に読んだ本を集めました。
懐かしい本、ひるがえって新鮮に感じる本など、十人十色の企画です。



8月20日

国際子ども図書館見学ツアー 2015

夏の見学ツアーは、8月20日に、

上野にある国立国会図書館の分館、国際子ども図書館に行ってきました。

今回は、学生メンバー6名とスタッフ2名の参加です。

国際子ども図書館は、我が国唯一の国立の児童書専門図書館として

2000年に開館されました。

建物は、明治39（1906）年に明治期ルネサンス様式で建てられた

帝国図書館を再生・利用しており、東京都選定歴史的建造物に指定されています。

当日は、国際子ども図書館スタッフの案内のもと、

子どもたちが自由に本を読むことのできる「子どものへや」をはじめ、

国内外の児童書とその関連資料を集めた資料室を見学しました。

また、普段は立ち入ることのできない書庫も特別に見せていただきました。

子ども雑誌の創刊号などにメンバーも感動の様子。

歴史的建造物と最新の設備が融合された空間で、

それぞれ、資料を手に取りながら、

ゆったりとしたひとときを過ごすことができました。



メンバーの感想

普段見られないバックヤードにある資料書庫の見学や旧帝国図書館の面影を残す建築様式の説明もガイドの方に詳しくしていただきました。特に印象的なのは、当時のまま残してある階段の手すりです。彫刻が細かく綺麗でした。

（総合文化学科4年 グリズリー）

子ども図書館というだけあって、温かみのある室内にとっても驚きました。照明一つにしても意図があると聞き、考えつくされているのだという印象を持ちました。過去と現在が混在するような独特の雰囲気はとても居心地がよく、子どもだけでなく大人もすんなりとその空間に溶け込める場所だと思います。私も一度、小さな頃好きだった本を探しに行ってみたいと思いました。

（総合文化学科1年 前途）

普段は入れない書庫などの見学もさせていただき、とても有意義な見学でした。子ども図書館では読み聞かせイベントを行っているのですが、読み聞かせ室がまるで裁判所のような形の部屋で印象的でした。所蔵されているのは絵本だけではないし、内装や外装がシックでおしゃれなので、大学生や大人の方が見学にいても楽しめる場所だと思います。

（総合文化学科1年 もち）

建物の外観が素敵だと一番初めに感じました。中も改装していない部分が沢山あってとても素敵でした。

（経営学科3年 諒）

No.
5

10月23日

『○○の秋本棚』公開

『○○の秋』と聞いて、あなたは何を連想しますか？
メンバーが連想した4つのテーマ、
「食」「旅」「天文・星」「芸術」の本を集めました。
読書の秋、到来。
メンバーこだわりの本棚でした。



No.
7

12月18日

『もう一度読みたい絵本本棚』公開

今年度最後の企画本棚は、
『もう一度読みたい 絵本本棚』です。
メンバーの思い出の絵本、
最近読んだ絵本など、
見て楽しめる本棚です！



No.
6

10月31日

『コミックアゴラ×ビブリオバトル』開催

大学祭に合わせて、過去何回か開催した「コミックアゴラ」と、毎年行っている「ビブリオバトル」のコラボレーション企画を行いました。

【コミックアゴラ】

LRPメンバーのおすすめのコミックを持ち寄り、3Fフリー閲覧スペースにて時間限定で公開。
11:00から15:30まで、素敵な時間を過ごしました。

※「アゴラ」とは…古代ギリシア語で「広場」=人々が集い、自由に対話する場所のこと。

→ビブリオバトルについては、15pへ



2月10日

第9回 選書ツアー

春に入学する新入生に向けての本棚作りのため、選書ツアーに行ってきました。毎年お世話になっている紀伊國屋書店新宿本店で実施し、10名のメンバーが参加。ツアー前から、欲しい本を調べ、事前にバッチリ準備しました。

当日は、約1時間、各自店内を探索してお気に入りの本を選び、その後、イベントスペースをお借りして、プレゼンです。メンバー同士で、自分が選んだ本のおすすめポイントを紹介し合います。「その本、私もいいと思った!」「そんな本があったんだ!」など、本との新たな出会いもありました。



No.
8

メンバーの感想

今回が初めての選書ツアーでしたが、思ったより選書の時間が過ぎるのが早かったので慌ててしまいました。
(総合文化学科4年 グリズリー)

時計についての本が見つからずに残念でした。欲しい本がことごとく図書館に入っていたので選ぶのが大変でした。
(経営学科3年 諒)

たくさん本に囲まれてとても楽しい時間でした。良い経験ができたと思います。
(総合文化学科1年 前途)

プレゼンが予想以上に難しかったです。新入生に推したい本を共有し、語り合えたのは貴重な体験でした。ぜひ、次の機会にも参加したいです!
(総合文化学科1年 ジンジャー)

ジャンルで絞っていても、様々な本を目にすることができて、目新しかったです。
(芸術学科1年 片道きつぷ)

本を選んでいる時間は、とても至福な時間です。新しい発見もあります。
(総合文化学科1年 an)

他のメンバーが選書した本が、自分の知らない分野の本であったり、興味深い本であったりと、本を選ぶ中で、いろいろな本について存在を知ることができてよかったです。そして、自分が選んだ本について、説明する際に改めて本の魅力について自分で気がつけてよかったです。
(総合文化学科1年 ムニン)

みんなで和気あいあいと本屋(しかも広い!)を回れて楽しかった。自分の好きな小説を捜したところ、在庫僅少となっていて売れゆき好調なのかと思うと嬉しかった。
(総合文化学科1年 藤原大介)

新入生の人たちに喜んでもらえるように本を選ぶのが大変でした。
(総合文化学科1年 もち)

去年も選書ツアーに参加していましたが、今年も自分の思ってもいないような本や、知らない本を沢山知ることが出来ました。
(芸術学科2年 eme)

BIBLIO BATTLE

ビブリオバトル
2015

ビブリオバトル…テーマは「コミック」

2015年度、大学祭に合わせてビブリオバトルを開催。

フリー閲覧コーナーにて、初めて

12:30からと14:40から、1日に2回行いました。

同時開催のコミックアゴラ(12p参照)に合わせて、テーマを「コミック」として、

LRPメンバーおすすめのコミックをプレゼン!

新入部員の初々しいプレゼンや、上級生の話術を駆使したプレゼンなど、

メンバーそれぞれ味わいがあり、楽しいビブリオバトルになりました。

大学祭ということで、学生はもちろん、一般の方や、

LRPのOBの観戦もあり、大いに盛り上がりました。

当日紹介された本

第1ゲーム

『彼氏彼女の事情』

津田雅美作 白泉社

『ダンジョン飯』

九井諒子作 KADOKAWA

『ごはんのおとも』

たな作 実業之日本社

『うせもの宿』

穂積作 小学館

第2ゲーム

『俺とヒーローと魔法少女』

九段そごう作 フレックスコミックス

『くまみこ』

吉元ますめ作 KADOKAWA

『ボクラノキセキ』

久米田夏緒作 一迅社

『ロックアップ』

猿渡哲也作 集英社

チャンプ本は…『ごはんのおとも』でした!

チャンプ本は…『くまみこ』でした!



ビブリオバトルの大きなルール

- ① 「これが好き!」「これを読んでほしい!」というお気に入りの本を持って集まる。
(大会によってはテーマを設けることがあります。たとえば「科学」、「きのこ」など)
- ② プレゼンタイム。1人持ち時間5分で本を紹介します。
- ③ 質問タイム。2~3分で観戦者との質疑応答を行います。
- ④ ②と③から「どの本が読みたくなったか」で投票を行い、その大会での「チャンプ本」を決定します。

[ビブリオバトル公式サイト] <http://www.bibliobattle.jp/>

PICK UP BOOK

毎年恒例、LRPメンバーおすすめの本を紹介するこのコーナー。
メンバーそれぞれのコメントと併せてお楽しみください。



『薔薇のマリア』
十文字青著／角川書店／342p
世界観と設定がやけに濃い、ローグライクなダークファンタジー。私の心を惹かせたのは主人公の「マリアローズ」が絶望的に弱いということ。美貌以外に突出したものが無い凡庸な「マリアローズ」が、次第に過激化する世界の流れに巻き込まれてゆきながらも、仲間と共に必死に生き抜こうとする姿は、青臭い青春やハードな物語が好きな人ならハマること間違いなし。
(総合文化学科1年 ジンジャー)



『エラゴン—遺志を継ぐ者 ドラゴンライダー1』
クリストファー・パオリニ著 大島双恵訳／静山社／645p
平凡な暮らしを送っていたエラゴンはある日、森の中で青色に光る不思議な石を見つける。それはなんと、ドラゴンの卵だった。重厚な一冊だが、現在はKindle等の電子書籍としても手軽に読めるので、ドラゴンやエルフが好きな人には是非オススメしたい一冊。青年とドラゴンの絆の物語に、寒い冬でも心があったまらさう。
(総合文化学科1年 ジンジャー)



『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』
七月隆文著／宝島社／287p
「あなたの未来がわかるって言ったら、どうする？」京都の美大に通う僕は、一目ぼれした女の子と恋をする。気配り上手で寂しがり屋な彼女は、僕が想像もできないような大きな秘密を持っていた！甘くて、でもとても切ないラブストーリー。温かく不思議な気持ちになります。
(総合文化学科1年 an)



『クジラの彼』
有川浩著／角川書店／286p
『浮上したら漁がきれいだったので送ります。』それが彼から2ヶ月ぶりに送られてきたメールだった。合コンで出会った彼は、自衛隊の潜水艦(クジラ)乗りだった…。自衛隊員というあまり馴染みのない職業の彼との、ちょっと苦くて、でもとても甘々な物語。他6編の恋の物語も収録。読み終わった後、きっとあなたもこんな素敵な恋がしたくなる！
(総合文化学科1年 an)



『モモ—時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語』
ミヒャエル・エンデ著 大島かおり訳／岩波書店／360p
かつて親に与えられて読んだ本の一冊で、幼いながらも過去・現在・未来を3兄弟に例えて、『長兄(未来)は会おうとしても常におらず次子(現在)はすぐいなくなり、結局家にいるのはいつも末子(過去)だけ』という言葉に感銘を受けた覚えがあります。時間という相対的な概念を強く意識し始めたのも、この本がきっかけだったように思います。
(総合文化学科1年 藤原大介)



『星の王子様』
サン・テグジュペリ著 河野万里子訳／新潮社／158p
大人になってからの方が面白く読めるお話で、特に、『ゾウを飲み込んだうわびみ』や、『箱に入っているヒツジ』、『わがままな赤いバラ』、『友達のきつね』など、心に残るエピソードが多く、むしろ大人にこそお勧めしたい一冊です。是非、童心に戻って読んでみて欲しいです。
(総合文化学科1年 藤原大介)



『なぜ怪談は百年ごとに流行るのか』
東雅夫著／学研パブリッシング／206p
世は怪談全盛時代—近年怪談や妖怪といったものが人気である。書店のどのコーナーにも怪談モノや妖怪モノがたくさん置かれている。この怪談人気、戦前や江戸時代にも同じ現象があったという。この本は江戸の文化・文政時代、明治・大正時代、そしてこの平成の時代に活躍する怪談作家の作品を通して、怪談の本質に迫っていく本である。怪談好きにはぜひお勧めしたい一冊だ。
(総合文化学科1年 もち)



『和菓子のアン』
坂本司著／光文社／光文社文庫／405p
デパ地下の和菓子屋で働き始めた主人公の梅本杏子(通称アンちゃん)は、歴史と遊び心に満ちた和菓子の奥深い魅力にだんだん目覚めていく。お客さんたちの謎めいた言葉に秘められた謎を解くミステリー部分も、アンちゃんの成長も、お腹いっぱい楽しめる本です。アンちゃんを取り囲むプロフェッショナルだけど個性的な店長や同僚にも注目です。和菓子のおいしそうな描写も物語に華を添えます。
(総合文化学科1年 もち)



『うちの執事が言うことには』
高里椎奈著／KADOKAWA／221p
現代、日本。子どもの時からあこがれていた執事・鳳(おおとり)の主人になれると思い、英国から帰ってきた花頼(かえい)を待っていたのは、自分が執事だと名乗る見知らぬ青年だった…。未熟な主従コンビが織り成すミステリー。主従×ミステリ! 上流階級×ミステリ! この言葉に反応する人はぜひ!
(総合文化学科1年 ノイン)



『ゾンビ日記』
押井守著／角川春樹事務所／201p
世界には動く死体達と一人の男だけが残された。男は変わらぬ孤独な日々の中で死体達を狙撃し、そして自分自身の心に問いかける。自分がここにいる意味を、自分だけが生き残ってしまった意義を。主人公の男視点で淡々と進む物語。雨の降っている静かな夜にゆっくり読んでもらいたい。
(総合文化学科1年 ムニン)



『わるいうさぎ』
中島さなえ著／双葉社／178p
RB203こと(わるいうさぎ)を自称するうさぎは、ラボの資料保管室から脱走する。初めて見た外の世界で彼が出会うのは奇妙な狸達であり、思い出すのはラボと一緒に過ごしていた仲間の兎のことだった…。インパクトのあるタイトル、そして動物達のそれぞれの切なくも優しいドラマ。強く弱くて温かな愛のエピソード。騙されたと思ってどうか読んでいただきたい。
(総合文化学科1年 ムニン)



『デモナータ第1幕—ロード・ロス—』
ダレン・シャン著 橋本恵訳／小学館／370p
主人公グルービッチ・グレイディ(クラブス)はチェス好きな両親と姉を持つ、格好つきたいお年頃の男の子。平凡だった毎日が、ある日魔将ロードロスによって家族を殺されてしまうことで一変する。『ダレン・シャン』シリーズ作者の描く悪魔は想像以上にグロテスク。けれどだんだんとその物語の中に引き込まれていく。ぜひシリーズを通して読んでいただきたい一冊。
(総合文化学科1年 前途)



『マチルダは小さな大天才』
ロアルド・ダール著 ケンティン・ブレイク絵 宮下嶺夫訳／評論社／353p
マチルダは4歳で難しい英文学を読みこなせるほどの天才。しかし両親はお金儲けにしか興味を持たず、学校はいじわるな校長先生に支配されていた。彼女を理解してくれたのは優しい担任教師のミス・ハニーだけだった。子供向けなんて侮るなかれ、彼女の活躍はいつだって心を躍らせてくれる。小さな体で悪役を懲らしたマチルダは、今でも心の中のヒーローです。
(総合文化学科1年 前途)



『横浜—交流と発展のまちガイド』
南学編著／岩波書店／183p
横浜の歴史を、写真を見ながら追っていく。横浜のキャラクター「ブルーダル」がキュートな表紙で迎えてくれる。本の中でも動くブルーダルがかわいい。横浜をもっと知りたいとき、理解を深めた上で旅行したいときにお供におすすめの一冊。新書サイズなのでぜひ現地に持って行きたい。カラー写真が多いので、写真を眺めているだけでもとても楽しい。
(芸術学科1年 片道きっぷ)



『お姫になれる本』
たけいみき著／サンマーク出版／191p
かわいい表紙に一目惚れして買いました。文の内容自体は「かわいいこそ全て」という清々しいお姫様っぷりです。おそらく、究極に堅苦しくない自己啓発本です。肩肘張らず読めますが、「かわいい」という単語が波のように、鬼のように押し寄せてくるので、ひたすら女子脳な方にはおすすめです。私は「かわいい」ってなんだっけ」と悟りの境地に至りました。兎にも角にも、表紙から中身までとても美しいので、ただめくるだけでも楽しい本です。
(芸術学科1年 lrd)



『いとしいたべもの』
森下典子文・画／世界文化社／174p
私はどうしてこの本を手にとってしまったのでしょうか。夜中に見てはいけません。いきなり冒頭からご飯が食べたくて仕方がなくなります。そして、懐かしくほほえましい著者の家族の思い出が心に沁みます。挿絵はもちろんですが、文でここまで生き生きとした食の風景を想像させられるのかと感心させられます。食と家族の深いつながりを思い起こさせます。読んだ後はおなかが空きます…が、心はとても温かくなります。等価交換です。
(芸術学科1年 lrd)

Thema Pick up

テーマピックアップ

LRPメンバーが

3つのテーマで各人1冊ずつ本を集めました。

同じテーマでも、人によって思い浮かべる世界が違います！

あなたはどんな本を思い浮かべますか？

今年一番読み返したい本



2冊をピックアップ…

『レンブラント 光と影の魔術師』

パスカル・ボナファー著 村上尚子訳/創元社/173p
暗闇の中にろうそくの光をともしような美しい絵を描く光の画家レンブラント・ファン・レイン。彼の作品に出会ったのは部活で油絵を描き始めてからすぐだった。人自身が輝いているかのような光の当て方、こちらを真っ直ぐに見つめてくる黒い目に美しさを感じた。大学に入って2年経つが、ただ美しいだけの絵ではなく、作品に美以外のものを求める。そもそも、美とはなんなのか、ということの中で学んできた。だからこそ、自分の思う美の原点ともいえるレンブラントを鑑賞することで、今一度自分の中の芸術美を再認識したいと思っている。(総合文化学科2年 eme)

『ブレイブ・ストーリー ～新説～』

小野洋一郎著・宮部みゆき原案/新潮社/194p
中学生、誰もが若干やさぐれる時期。そんな折に「ブレイブ・ストーリー」の漫画版があると知って手に取った。原作よりヤングな作風で、宮部みゆき先生から引き継がれた生々しいダークな物語は、擦れた心を逆に暖めてくれた。今でも度々読み返したくなり、読み返す度に新たな発見がある不思議な愛読書となっている。(総合文化学科1年 ジンジャー)



- ☞ハーモニー/伊藤計劃著/早川書房
- ☞街角の書店 フレドリック・ブラウン、シャーリー・ジャクソン[ほか]著/東京創元社
- ☞屍者の帝国 伊藤計劃、円城塔著/河出書房新社
- ☞日本妖怪大全/水木しげる著/講談社
- ☞ブレイブストーリー新説 小野洋一郎著・宮部みゆき原案/新潮社
- ☞キケン/有川浩著/新潮社
- ☞ダレン・シャン/Darren Shan 作 橋本恵訳/小学館
- ☞レンブラント 光と影の魔術師 パスカル・ボナファー著 村上尚子訳/創元社
- ☞戦国武将完全ビジュアルガイド レッカ社編著/カンゼン

私を変えた一冊

- ☞ブルースカイ/桜庭一樹著/早川書房
- ☞ブラックムの爆撃機/ロバート・ウェストール作・金原瑞人訳/岩波書店
- ☞キノの旅 the Beautiful World/時雨沢恵一著 黒星紅白イラスト/KADOKAWA(電撃文庫)
- ☞青空の卵/坂本司著/東京創元社
- ☞断章のグリム/甲田学人[著]/KADOKAWA(電撃文庫)
- ☞涼宮ハルヒの憂鬱/谷川流[著]/KADOKAWA(スニーカー文庫)
- ☞オオカミ王ロボ/アーネスト・T・シートン文・絵 今泉吉晴訳・解説/童心社
- ☞ハリー・ポッターの魔法世界ガイド/アラン・ゾラ・クロンゼック, エリザベス・クロンゼック著 和爾桃子訳/早川書房
- ☞信長 イノチガケ/坂口安吾[著]/講談社



1冊をピックアップ…

『キノの旅 the Beautiful World』

時雨沢恵一著 黒星紅白イラスト/KADOKAWA(電撃文庫)/238p
中学に入学してすぐの頃の読んだこの本が、今でも忘れられない。「世界は美しくなんか、そしてそれ故に、美しい」。その一文の矛盾が、すべてを表している気がした。銃声の鳴り響く殺伐とした世界観と、キャラクターの価値観が合わさって、そこに確かに一つの世界があると思った。この本は私の心臓を打ち抜いた一冊だ。(総合文化学科1年 前途)



子どもの頃お気に入りだった本

- ☞都会のトム&ソーヤ/はやみねかおる[著]/講談社
- ☞さむがりやのサンタ/レイモンド・ブリッグズさく・え すがはらひろく/福音館書店
- ☞シェーラひめの冒険/村山早紀作 佐竹美保画/童心社
- ☞不思議を売る男/ジェラルディン・マコーリアン作 金原瑞人訳/偕成社
- ☞少年陰陽師/結城光流[著]/角川書店
- ☞地獄堂霊界通信/香月日輪作 前嶋昭人絵/講談社
- ☞魔人探偵脳噛ネウロ/松井優征著/集英社
- ☞ガーデン・ロスト/紅玉いづき[著]/アスキーメディアワークス
- ☞BLACK BEAUTY 黒馬物語/アンナ・シューエル作 ヴィクター・アンブラス画 阿部和江訳/分園社
- ☞走れ! 白いオオカミ/M. エリス[著] 久米元一訳/あかね書房
- ☞ガオ/田島征三作/福音館書店
- ☞レインボーことわざ辞典 改訂新版/学研辞典編集部編/学習研究社



1冊をピックアップ…

『さむがりやのサンタ』レイモンド・ブリッグズさく・え すがはらひろく/福音館書店/32p
子どもの頃、寝る前に母がよく絵本を読んでくれました。その中のお気に入り、この絵本でした。この絵本には、説明文は一切出てきません。セリフと絵だけで楽しむ、マンガのような絵本です。私は冬になると決まってこの絵本を取り出してきて、母に読んでもらい、クリスマスを待ち望んでいます。(総合文化学科1年 an)





【所属学科】総合文化学科【学年】4年【PN】グリズリー
 【好きな本】泉鏡花諸作品、久住昌之『屋のセント酒』、嵐山光三郎『文人悪食』、羽海野チカ『3月のライオン』、天野こずえ『ARIA』『あまんちゅ』【好きな作家】泉鏡花、井上雄彦、澁澤龍彦【好きな食べ物】生野菜でなければ何でも。【趣味(読書以外)】名画会で映画鑑賞・音楽鑑賞(ジャズ、ロック、メタル、最近ではブルース)・神保町のジャズ喫茶通い【毎日すること】プロレスの動画を観る、ラジオを聴く。【好きな本屋(古本屋含む)】紀伊國屋書店、bookunion 新宿、神保町の古書即売会【行ってみたい場所】西日本各県(特に九州)、銭湯がたくさん温泉街がある町【かなえたい夢】自分で編集した本が出版されること【好きな言葉】「すべての道がローマに通じるなら、ドン・キホーテよ、デララメに行け!」(新居格)



【所属学科】総合文化学科【学年】3年【PN】月兎
 【好きな本】グリム童話【好きな作家】ルイス・キャロル【好きな食べ物】お父さんがつくってくれる料理(特にチャーハン・餃子)【趣味(読書以外)】小説を書くこと【毎日すること】音楽を聴くこと【好きな本屋(古本屋含む)】啓文堂書店【行ってみたい場所】ヨーロッパ全域【かなえたい夢】編集者になること【好きな言葉】備えあれば憂いなし



【所属学科】経営学科【学年】3年【PN】諒
 【好きな本】神話・童話・歴史系、写真集、画集【好きな作家】望月淳(漫画家)【好きな食べ物】スコーン、ハッカ飴【趣味(読書以外)】アニメ・漫画、写真、懐中時計収集、寝ること【毎日すること】食器洗い、二度寝【好きな本屋(古本屋含む)】紀伊國屋書店、文教堂【行ってみたい場所】サグラダ・ファミリア(スペイン)、イタリア、イギリス、フランス、ドイツ、ギリシャ、パチカン市国等々ヨーロッパ各国、京都【かなえたい夢】ヨーロッパに旅行に行く【好きな言葉】毘沙門天



【所属学科】芸術学科【学年】2年【PN】eme
 【好きな本】いろんな意味で魅力的な女性が出てくる本、画集【好きな作家】坂口安吾、池波正太郎、アントン・チェーホフ【好きな食べ物】チーズ、梅干し、味噌汁【趣味(読書以外)】ゲーム、絵画(主に油絵)【毎日すること】親のためにコーヒーを煎れる【好きな本屋(古本屋含む)】多摩センターの丸善【行ってみたい場所】オランダ、ドイツ【かなえたい夢】ペンギンを飼いたい【好きな言葉】怒りは敵と思え



【所属学科】芸術学科【学年】1年【PN】片道きっぷ
 【好きな本】特定の作品はありませんが最近では新書を読むのが楽しいです【好きな作家】どいかや【好きな食べ物】シチュー【趣味(読書以外)】ゲーム【好きな本屋(古本屋含む)】丸善丸の内本店【行ってみたい場所】横浜・山手の洋館巡り【かなえたい夢】世に何かしら自分の名前を残す【好きな言葉】出会ったから別れる時が来ただけのこと



【所属学科】芸術学科【学年】1年【PN】lrd(いるだ)
 【好きな本】画集、少年漫画【好きな作家】空知英秋、松井優征、暁月あきら、室山まゆみ、カスカベアキラ、毛魂一直線【好きな食べ物】抹茶菓子、野菜【趣味(読書以外)】イラスト、ヌンチャク、傘回し、腹筋【毎日すること】占い。良い事だけ信じます。【好きな本屋(古本屋含む)】実家近くの個人経営の本屋さん。帰るべき場所。【行ってみたい場所】ウユニ塩湖!水面に空が映るあれです。【かなえたい夢】防刃腹筋【好きな言葉】「私が人を好きであればそれでよい」



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】an
 【好きな本】怪談小説、ミステリー、絵本【好きな作家】はやみねかおる、空知英明【好きな食べ物】梅干し、マシュマロ【趣味(読書以外)】お絵かき、ピアノ、お家でゴロゴロ、自転車であらぶら【毎日すること】お絵かき、妄想、想像、腹筋【好きな本屋(古本屋含む)】文星堂、紀伊國屋書店【行ってみたい場所】京都、天の川が見られるところ【かなえたい夢】作品をpixivに載せること【好きな言葉】この世は通過するだけのものだから あまりきばる必要ないよ



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】藤原大介
 【好きな本】モモ、巷説百物語シリーズ【好きな作家】ミヒヤエル・エンデ、京極夏彦【好きな食べ物】鶏肉、茄子【趣味(読書以外)】ゲーム、絵を描く【毎日すること】絵を描く【好きな本屋(古本屋含む)】ブックオフ(ゲームも見られる)、有隣堂(ブックカバーが好き)【行ってみたい場所】冬の奥美濃【かなえたい夢】人目につかないところでひっそりと生きる【好きな言葉】生まれた時あなたは泣いていて周りの人たちは笑っていた。死ぬ時はあなたが笑っていて周りの人たちが泣いている。そんな風に生きなさい。



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】もち
 【好きな本】『青空の卵』、『地獄堂霊界通信』、日本の妖怪・怪談・神話関連の本、ミステリーなど【好きな作家】坂本司、香月日輪、他【好きな食べ物】ラーメン、お肉料理全般、お寿司【趣味(読書以外)】ゲーム、アニメ・漫画鑑賞、音楽鑑賞、お昼寝、お散歩【毎日すること】3DSのゲーム【好きな本屋(古本屋含む)】紀伊國屋書店新宿本店【行ってみたい場所】フィンランド、遠野、出雲、熊野など【かなえたい夢】妖怪になりたい【好きな言葉】明日は明日の風が吹く



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】ムニン
 【好きな本】戯言シリーズ、シェーラ姫の冒険シリーズ、狐笛の彼方、わるいうさぎ【好きな作家】西尾維新、村山早紀、紅玉いづき【好きな食べ物】昆布、沢庵、干歳飴【趣味(読書以外)】物書き、落書き、ゲームをすること、ゲーム制作、兎観察【毎日すること】兎を愛でる【好きな本屋(古本屋含む)】文化堂【行ってみたい場所】大英博物館【かなえたい夢】作家、もしくはシナリオライターになること【好きな言葉】人は人、自分は自分



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】ノイン
 【好きな本】ミステリ、ファンタジー【好きな作家】クリスティー、都筑道夫等【好きな食べ物】冬瓜、卵豆腐【趣味(読書以外)】映画、落語【毎日すること】寝る【好きな本屋(古本屋含む)】@ワンダー、羊頭書房【行ってみたい場所】イギリス界隈【かなえたい夢】一生本読んで暮らす【好きな言葉】若者は年寄りを馬鹿だと思っているが、年寄りも若者を馬鹿だと知っている



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】ジンジャー
 【好きな本】『断章のグリム』『ドラゴンライダー(クリストファー・パオリニ著)』『ブレイブストーリー』『獣の奏者』『薔薇のマリア』『魔人探偵脳噛ネウロ』【好きな作家】好きな本で取り上げた作品の著者全般、特に甲田学人先生【好きな食べ物】生姜、生姜焼き、寿司についてくる生姜【趣味(読書以外)】ボードゲーム、カードゲーム、アニメ鑑賞【毎日すること】活字に触れないと死にます【好きな本屋(古本屋含む)】丸善(絶版品の取り寄せまで融通が利く)【行ってみたい場所】京都の神社巡り【かなえたい夢】コールドスリープ【好きな言葉】「本当はすごく簡単な話。わかってしまえば、何だってそう。複雑に感じるの、わからないから。知らないから。」(薔薇のマリア 15巻/ハニーメリー)



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】前途
 【好きな本】ライトノベル、推理小説【好きな作家】時雨沢恵一、有栖川有栖 他【好きな食べ物】秋刀魚、お米【趣味(読書以外)】育成ゲーム【毎日すること】アプリゲームのログインボーナス回収【好きな本屋(古本屋含む)】近ければどこでも【行ってみたい場所】貴船神社【かなえたい夢】自分だけの本棚をもつ【好きな言葉】前途多難、前途洋々



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【PN】猫瑠
 【好きな本】恋愛、ファンタジー、特に動物が活躍するならなおよし!【好きな作家】有川浩【好きな食べ物】梨、ニンジン、椎茸、モロヘイヤ、甘い&酸っぱいもの【毎日すること】犬にちょっかいをかける【好きな本屋(古本屋含む)】ブックオフ【行ってみたい場所】競馬場【かなえたい夢】本と犬と馬に囲まれた生活【好きな言葉】ごろごろまったり寝放題!

今年度を振り返って

LRP メンバーの声

またたく間に4年生となり和光での、そしてLRPでの生活が過ぎ去ろうとしている。今年はほとんど活動には参加せず、部室で管を巻きながら、後輩たちとゆらゆらと戯れる毎日であった。そんな状態でもこの「寄合」は心地よく、帰って来たい場所である。

(総合文化学科4年 グリズリー)

今年は後輩がたくさんLRPに加入してくれたおかげで、とても賑やかだった気がします。自分は忙しくて活動に参加するのは少し大変だったけど、活動中、活動外でワイワイするのがとても楽しく、癒しでした。また来年も楽しく活動したいです。

(経営学科3年 諒)

3年生がLRPを引っぱるといってもあって、今年は色々な企画に参加したかなと思います。夏休みに行われた見学に参加できなかったのは残念です…行きたかった…

(総合文化学科3年 月兎)

自分の学年が私一人しかいないことや、LRPの活動メンバーが少なくなるということで、今年は新入生の勧誘を頑張りました。先輩たちとフレッシュマン・フェスティバルや入学登録当日のチラシ配りなどLRPを知ってもらう活動を続けた結果、沢山の新一年生が参加してくれました。来年から私も3年生、頼られるほどとは言いませんが先輩として頑張っていきたいです。

(芸術学科2年 eme)



私がLRPに入ったのは、友達に誘われてだった。それがちょうど後期からで既に入っていたメンバーと仲良くできるか心配だったが、メンバーみんな楽しくて面白い人ばかりだったので、打ち解けることが出来た。

(総合文化学科1年 an)

元々図書館に住みたいと憧れるほど本の虫だった私が図書館に関わる学生団体に所属したいと思うのは当然の流れでした(残念ながら忙しさにまかしてあまり多く本を読んでいるとは言えませんが)。夏休みには有志メンバーでの活動もあり充実した初年でした。

(総合文化学科1年 藤原大介)

先輩方に色々なことを教えてもらえたおかげで、LRPの活動にもなんとなくですが慣れることができたと思います。図書館見学ツアーや本棚企画など一年間楽しい体験ばかりでした。来年はもっと積極的に企画案を出していきたいです。

(総合文化学科1年 もち)



後期が始まってから入った新参者ゆえにほとんど何もやれていませんが、今後ともいろいろ活動出来たらいいなと思っています。

(総合文化学科1年 ムニン)

私は比較的早い段階から参加していたので、たくさんのイベントを経験しました。初めての本棚企画で自分の案が採用されたことは、今もいい思い出です。来年も積極的にいろんな企画をしたいです。

(総合文化学科1年 前途)

本当に忙しい一年でしたが、ポスター等やれることはやれたので一安心です。後期から続々とメンバーが増えて大所帯となりましたね!

(芸術学科1年 Ird (いるだ))

大学祭のビブリオバトルをきっかけにLRPに参加しました。まだ新参者ですが、本好きには堪らない場所で楽しいです!

(総合文化学科1年 ジンジャー)

私は六月ごろから途中参加したので、慣れることが出来るかと心配でしたが、先輩や同学年があなたかく迎え入れてくれて、とても楽しいです。見学ツアーに参加できなかったのは残念でしたが... 来年は参加したいです!

(総合文化学科1年 ノイン)



LRPルームは、図書・情報館2Fです。
「開室中」であれば、メンバーが中にいます。
気軽に声をかけてください。



LRPレポート2015 Let's Read Project 2015
2016年3月18日発行

〔編集〕『LRPレポート』編集委員会 〔発行〕和光大学附属梅根記念図書・情報館
〒195-8585 東京都町田市金井町2160 TEL : 044-989-7494 E-mail : library@wako.ac.jp